

企画セッション | 委員会セッション：福島特別プロジェクト

2024年9月11日(水) 13:00 ~ 14:30 C会場(講義棟A棟1F A105)

[1C_PL] 帰還困難区域の解除の進捗状況について

座長: 藤田 玲子(福島特別プロジェクト)

[1C_PL01]

これまでの福島復興の取組と今後の課題

*榎本 諭¹ (1. 内閣府)

[1C_PL02]

総合討論

福島特別プロジェクトセッション

(1) これまでの福島復興の取組と今後の課題

(1) Fukushima reconstruction efforts to date and future challenges.

*樋本 諭¹¹ 内閣府原子力災害現地対策本部

1. これまでの福島復興の取組と今後の課題（内閣府原子力災害現地対策本部）

福島の原子力災害からの復興・再生は政府の最重要課題であり、これまで関係省庁が連携し、福島県の市町村に出された避難指示の解除に向けた取り組み及び当該地域における復興・再生に向けた施策を進めてきた。買い物、医療・介護等の生活環境の整備を始め、復興が進むにつれて新たに生じる多様な課題やニーズにきめ細かく対応するため、新たな地域づくりに資する施策を着実に進めるとともに、近時は、ご帰還されたい住民の方々が安全・安心にご帰還できる取り組みも進めている。本講演では、震災後から現在に至るまでの福島復興の取組と、今後の課題について紹介する。

*Satoru Toyomoto¹¹ Local Nuclear Emergency Response Headquarter, Cabinet Office

企画セッション | 委員会セッション：福島特別プロジェクト

📅 2024年9月11日(水) 13:00 ~ 14:30 📍 C会場(講義棟A棟1F A105)

[1C_PL] 帰還困難区域の解除の進捗状況について

座長: 藤田 玲子(福島特別プロジェクト)

[1C_PL02] 総合討論

帰還困難区域外における避難指示解除から7年が経過し、特定復興再生拠点を中心に住民が帰還できる環境が整ってきているが、帰還困難区域の全面解除にはまだかなりの時間がかかる。しかしながら、特定復興再生拠点以外の帰還困難区域の点及び線除染を進めることにより、住民が帰還できる特定帰還居住区域が増えてきており、その取り組みの現状を日本原子力学会の会員が正確に認識することは、学術団体としての前向きな対応を方向付ける意味で重要と考えた。本セッションでは、内閣府原子力災害現地対策本部の担当官をお招きし、国としてのこれまでの経緯、現状、今後の方針をご紹介いただくと共に、関連する事項についての情報を共有する。